

まちの電気屋さん



タマヤデンキ
(大瀧区瀧町)
佐藤 和仁さん



①昭和34年に創業した父の店を継いだ二代目。「青年会や消防団など地域のつながりもあって、これまで続けてこれました」と笑顔で話す。②夏が本格化する前にエアコンに異常がないか、細かくチェック。点検のついでに「そういえば…」と別の相談をされることも。③小さな困りごとから大きな相談まで、さまざまな依頼が佐藤さんの元へ。小回りが利く小さなお店の利点を生かし、柔軟に対応。

電球交換から新築まで。暮らしに寄り添う電気屋さん

「痒い所に手が届く」ではなく、「痒くなる前に」をモットーに、販売時限りのお付き合いではなく、使い方の説明やメンテナンスなど、アフターフォローも大切に行います。昔からのお客様から「あなたに任せるよ」という信頼の言葉をいただけるのは、まちの電気屋さん冥利に尽きますね。

また、地域を元気にしたいと思いい、「1000円(縁)でつながるお付き合い」を目指し、実行委員会を立ち上げ、「おおがた百縁笑店街」を10年程前から開催しています。「身近なお店を知ってもらいたい」と企画したもので、若い人や親子からも参加いただきうれしく思っています。その他にも、大瀧かつぱ祭り、海岸の松林の再生、「Hobbyおおがた」、仲間と行ういちじくの栽培など、地域との関わりを大事にしています。

仕事も地域の関わりも、「みんなに喜んでほしい」が原点です。当店にご依頼いただけること、またこの地域で商売できることに感謝し、「おかげさま」の気持ちを胸に、今後も頑張りたいですね。

困ったときは、いつもタマヤさんに電話しています。この年になると、電化製品を買い替えるにしても、操作方法など使い慣れた物の方が良いのですが、タマヤさんとは長年のお付き合いで、私たちのことをよく知ってくださいたいです。私たちが探してきてくれます。連絡するとすぐに来てくださいますし、いつも親身になって対応いただけるので、本当にありがたいですね。

車を運転できていたうちはあまり意識しませんでした。運転しなくなってきたら身近なお店のありがたみを痛感するようになりました。地元のお店は地元が支えていかなければいけません。それが地域コミュニティにつながるんでしょうね。



西村 昭さん、トシ子さん

地元のお店は、
地元で支えていきたいですね

まちの水道屋さん



有限会社
上越機器総合サービス
(東本町2)
内藤 孝一さん



①自らを「蛇口まん」と称す内藤さん。宣伝のときは、木製の蛇口が付いたヘルメットを被るのだそう。②慣れた手つきで手際良く新品の給湯器を設置する内藤さん。③平成21年から作成し、得意さんに手配りしている「元気の素通信」は、「手書きの方が心がこもるから」と発行当初から手書き。従業員が調べた豆知識などさまざまな情報が掲載されており、好評を得ている。

お客様とのご縁と、皆さんの笑顔を大切に

本業以外のご依頼をいただくことも。お客様の信頼が何よりうれしいですね

水道屋は下請けが多く、うちのようにお客様から直接ご依頼いただくのは珍しい方もおられます。だからこそ、一度関わったお客様とのご縁を大切にしています。

本町4丁目にもお店があり、地域のイベントにも積極的に参加するようにしています。皆さんに笑顔になってもらいたい、という思いから「面白い水道屋さん」を目指し、イベントでは子ども向けのゲーム台を設けたり、車にも大きなイラストを掲載しました。

商工会議所が開催する勉強会にも積極的に参加し、さまざまなことを取り入れています。平成20年から小まめに更新し続けてきたブログの更新回数は、6千回以上になりました。

本業は水道屋ですが、実は草刈りや不用品回収など本業以外のご依頼をいただくこともよくあります。信頼をいただくこともよくあります。信頼をいただいているからこそ、そういったご依頼をいただくのだと思いますし、お客様から「内藤さんのところだと安心できるから」との言葉をいただくことが一番うれしいですね。

昔から内藤さんのところをお願いしています。先日は、壊れてしまった給湯器の修理をお願いしました。電話した日はお店がお休みの日だったんですが、快く、そしてすぐに対応してくれて、本当にありがたかったですね。

コロナ禍の影響で新品の給湯器の在庫がなかったそうですが、新品が手配できるまでの間、困るだろうからと中古の給湯器を付けてくださったので、不便なく過ごすことができました。

従業員の方も皆さん優しく、いつも安心してお任せしています。この間、息子へ連絡したときも「内藤さんのところなら安心だね」と話していました。顔が見える関係というのでしょうか。やっぱり信頼できるところが一番ですね。



渡辺 文さん

昔からお願している
内藤さんのところだから、
安心して任せられます